

拝啓 今年も早や1月末となりました。いつもエンカウンターをお読み頂きありがとうございます。近所の公園では、いまは山茶花だけが咲いております。

今月は、カウマン夫人編著の『日の出に向かって』（日本ホーリネス教団出版部）の2回目です。

2月10日の所に、次のような詩が載っています。

闇の中にいる時、賛美せよ。

光の中にいる時も、賛美せよ。

あなたの目が悲しみに曇っている時、賛美せよ。

晴れた日に賛美せよ。雨の日にも

秋に賛美せよ。冬にも、春にも

讚美している限り、あなたを損なうものはない

私たちは、この詩の「賛美せよ」という所を「称名せよ」と置き換えて読むと良いと思います。「常住坐臥時節の久近を問わず」称名することになります。

新年に当たり、今年の方針として、小西先生の伝記を書くことを目標に掲げました。少しずつ下書きの執筆を始めました。年内ぐらいい一応の原稿を概成させようと思います。

昨年11月、12月と2度の入院、手術をして、少し気力が落ち込みましたが、それではいけないと、散歩や規則正しい生活により、元の気力に回復しております。

正月の4日から6日には、伊豆下田のホテルに泊まり、下田の開港の歴史の後を訪ねたり、爪木崎の水仙の群生地を見てきました。本誌読者の相沢悦子さんのお住まいになる伊豆大島がよく見えました。

また1月9日には、毎年新年に行く石割山(1413m)に本誌読者の佐藤昭夫さんらと共に登ってきました。この日は、前日からの雨がやみ、快晴となり富士山が一日中くっきり見え、幸運でありました。

それから、2月19日から9日間、テマサ・トラベルのツアーで、ギリシャ・パウロの旅に参加します。ギリシャ北部のピリピヤテサロニケ、コリント等パウロの伝道した都市を訪問する計画です。

寒さ厳しき折柄、皆様も、どうぞお身体ご自愛ください。

敬具

山口周三

平成30年1月24日

エンカウターの読者各位